

目標達成計画

作成日: 令和 5年 1月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者・家族等の意見の反映	対面を意識して運営委員会への参加等を呼びかけ多くの家族の意見を実際の介護に反映させる。	コロナ禍の為、書面が多くなっているが、面会に来訪時や電話での何気ないやり取りの中で、利用者様に対しての家族の思いや運営委員会への参加を呼びかけ実際の利用者様の日常を見て頂き、時にはレクリエーションへの参加を呼びかけ一緒に時を過ごしていただけるような時間を持ちたい。(コロナが落ち着いたら)	12ヶ月
2	38	介護度の低下により日々の暮らしが厳しくなっている	個々に合わせた柔軟性のあるくらしの支援	一人一人の趣味や特技に合わせた取り組みを行い、その人らしく生活できるよう見守りながら柔軟性のある日々を過ごしていただく。塗り絵・パズル・テレビ・新聞や雑誌を読んだり、出来る人には箱作りや新聞折り等職員と一緒にしたり、室内でも一人一人がゆっくりと楽しめるような一日を提供したい	3ヶ月
3	45	入浴を楽しむことができる支援	安心・安全に入浴していただく	浴室の中にシャンプーやボディソープや洗剤などを職員が直ぐに取れる所に置いていたが外部評価時の指摘があり翌日から洗剤のボトル置き場を変更。介護度が高く利用者様が届かないとは言え安全性にかけていた。広々とゆったりした気持ちで、安心・安全に入浴していただくことは基本であり利用者様の気持ちのゆとりにも繋がると感じた。	1ヶ月
4	49	コロナ禍での外出の機会が減っている	その人の希望にそってご家族様の協力のもと、行事がある時は参加していただく	家族や親戚の祝い事や墓参り等の行事に参加する。家族と散髪に行く等で気分転換を促す。施設は平屋の建物などでコロナ時の面会も窓越しに行っている。耳の遠い利用者様もいるが窓を開けなくても顔を見るだけで御家族様も、利用者様も安心されている様子がうかがえる為、窓越しの面会は継続していきたい。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。